

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

## **「MONEX 個人投資家サーベイ 2015 年 2 月調査」 ～日本株 DI は大幅に上昇、米国株 DI は 4 か月連続で高水準を維持～**

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）は、2009 年 10 月よりマネックス証券に口座を保有する個人投資家を対象に、相場環境等に対する意識調査を月次で実施しております。このたび、2015 年 2 月 6 日～9 日にインターネットを通じて実施したアンケート調査 846 件の回答結果を報告書にまとめました。

### **今月の特別調査～個人投資家の投資・資産運用にかかる時間について～**

**「週に数時間程度」以上かける層が全体の約 75%、20 代では約 90%**

（別紙調査結果 2 ページ）

個人投資家に投資・資産運用にかかる時間についてたずねたところ、「週に数時間程度」以上かける層が全体の約 75%をしめ、そのうち「毎日 1 時間程度」、「週に数時間程度」と回答した層がそれぞれ約 3 割となることがわかりました。20 代においては「週に数時間程度」以上かける層が約 9 割となり、他の年代よりも高いことが分かります。また、金融資産別にみると金融資産の多い方ほど投資・資産運用にかかる時間が長い傾向があることがわかりました。

### **定例調査（一部抜粋）**

**日本株 DI <sup>(※1)</sup> は大幅に上昇、米国株 DI は 4 か月連続で高水準を維持**

（同 3 ページ）

個人投資家に今後 3 ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）の株式市場見通しについてたずねたところ、日本株については今後株価が「上昇すると思う」と予想する回答者が増え日本株 DI は前回調査時（1 月実施）と比較して 13 ポイント上昇し 40 ポイントとなりました。調査期間中に発表された米国雇用統計の結果が市場予想を大きく上回ったこと、円安が進行し株高が進んだこと、原油安が一服したことなどが影響したと考えられます。米国株 DI はほぼ横ばいとなりましたが 4 か月連続で高水準を維持しており、個人投資家の米国市場への期待感が高いと考えられます。一方で中国株 DI は-44 ポイントと前回調査時から 15 ポイントの大幅下落となり今後株価が「下落すると思う」と予想する回答者が増えました。2 月上旬に発表された中国製造業購買担当者景気指数（PMI）が市場予想を下回り景気判断の節目となる 50 を割り込んだことやその後発表された中国の貿易統計が市場予想よりも大きく下回ったこと等が理由として考えられます。

【日本株 DI】（2015 年 1 月）27→（2015 年 2 月）40（前回比+13 ポイント）

【米国株 DI】（2015 年 1 月）50→（2015 年 2 月）52（前回比+2 ポイント）

【中国株 DI】（2015 年 1 月）-29→（2015 年 2 月）-44（前回比-15 ポイント）

（※1）DI:「上昇すると思う」と回答した割合（%）から「下落すると思う」と回答した割合（%）を引いたポイント

調査結果の詳細は、添付の別紙レポートをご参照ください。

**【お問合せ先】**

マネックス証券株式会社  
営業本部 営業企画グループ PR 担当 松崎 電話 03-4323-3800